

平成16年6月教育長定例記者会見資料

事 項	内 容	備 考
<p>ミュージアムパーク茨城県自然博物館開館10周年記念事業について</p>	<p>1 事業概要 ミュージアムパーク茨城県自然博物館は、平成6年11月13日の県民の日^{（注）}に開館し、今年10年目を迎えます。開館10周年を記念し、<u>特別企画展、記念式典及び環太平洋博物館国際シンポジウム</u>など各種記念事業を実施し、自然博物館の新たな魅力づくりを考える契機とするとともに、より一層の利用促進を図ります。</p> <p>2 開館10周年記念特別企画展「恐竜たちの足音が聞こえるー中国 そして日本ー」の開催【7月17日（土）～11月14日（日）】</p> <p>(1) 目的 姉妹館である<u>内蒙古自治区博物館</u>の全面的な協力を得て、<u>ゴビ砂漠地域から産出した恐竜類化石を中心として、日本各地から産出した恐竜類化石も加え紹介することにより、中生代白亜紀（1億4600万年前～6500万年前）頃の中国と日本との繋がりについて考えていきます。</u>また、<u>内蒙古自治区の現在の豊かな自然とそこに生きる人々の生活を紹介します、ゴビ砂漠地域の自然と環境の変化、生物の多様性について考えます。</u> さらに、「自然との共生 市民との協働」をキーワードに、<u>内蒙古自治区博物館、同じく姉妹館であるロサンゼルス郡立自然史博物館（アメリカ）、友好館であるテパパ・トンガレウ国立博物館（ニュージーランド）の協力を得て展示を構築し、環太平洋地域での今後の10年に向けた「環太平洋博物館ネットワーク」について紹介するとともに、自然博物館の開館10年のあゆみと今後の活動の基本となる長期計画（案）について紹介します。</u></p> <p>(2) 記念特別企画展の内容と見どころ</p> <p>ア 第1部 ゴビ砂漠の恐竜 又オエロサウルスの実物標本3点 自然博物館のシンボルである又オエロサウルス（複製標本）の実物標本として、<u>長さ230cmの肩甲骨などの実物化石3点が、恐竜ホールで来館者を迎えます。</u> 肉食恐竜の連続する足跡 <u>1億3000万年前に肉食恐竜が歩いた様子が分かる、連続する足跡化石が内蒙古自治区に残っています。</u>自然博物館スタッフが現地^{（注）}で長さ1.2mにわたって型取りしたものを展示します。 恐竜パレード - イグアノドン類の全身骨格 - 内蒙古自治区から発見された各種の恐竜を展示します。特に、<u>イグアノドン類は、2003年6月に内蒙古自治区で全身骨格が発見された、全長10mの植物食恐竜です。</u>この標本は、今回の特別企画展に合わせて全身骨格が復元され、初めて公開されます。 また、<u>角竜類のプロトケラトプスや肉食恐竜であるタルボサウルス、かぎ爪をもったテリジノサウルス類なども紹介します。</u> クリーニングラボ 自然博物館スタッフが、岩塊から恐竜化石を取り出すクリーニング作業を実演します。 湿地の生物群と恐竜から鳥類への進化 内蒙古自治区周辺で発見された、<u>羽毛をもった恐竜や原始的な鳥類を展示します。</u>羽毛恐竜の一部が鳥類へ進化したと考えられており、生きていたときの環境や鳥類への進化の過程を、<u>翼竜や原始的哺乳類などの当時の様々な生物化石とともに紹介します。</u> 日本の恐竜 日本で恐竜化石が発見されている14の道県のうち、<u>12の道県から産出した恐竜化石を紹介し、日本とアジア大陸との関係を考えます。</u> 全身骨格が組み立てられたフクイラプトル・フクイサウルス（福井県）、日本で初めて発見されたモシリウ実物化石（岩手県）、ティラノサウルス類の歯（福井県）、サハリンで発見されたニッポノサウルス（実物）などを展示します。 モンゴル草原の豊かな暮らし 自然博物館と内蒙古自治区博物館の職員による植生調査隊が採集した、<u>モンゴル草原の植物標本100種を中心に、内蒙古自治区の豊かな自然と人々の暮らしを紹介します。</u></p> <p>イ 第2部 環太平洋自然史博物館 環太平洋博物館 自然博物館と友好関係にある、<u>内蒙古自治区博物館（中国）、ロサンゼルス郡立自然史博物館（アメリカ）、テパパ・トンガレウ国立博物館（ニュージーランド）の収蔵資料を紹介し、今後の博物館の新しいネットワークづくりの在り方について考えます。</u>主な展示品は、次のとおりです。 ・内蒙古自治区博物館 内蒙古自治区のある中国北方地域は、遊牧生活を送っていた様々な北方騎馬民族の歴史^{（注）}です。これらの民族が残してきた<u>歴史文物資料</u>について、新石器時代（7,000～4,000年前）から清時代（1662～1911）までの貴重な品を展示紹介します。 ・ロサンゼルス郡立自然史博物館 現世のアフリカライオンに近いと言われているアメリカライオンの頭骨化石（複製標本）、鳥類・哺乳類のはく製標本及びカリフォルニアの先住民の生活を学ぶ教育キットを展示紹介します。</p>	<p>ミュージアムパーク茨城県自然博物館 （電話 0297-38-2000）</p> <p>オープニングセレモニー 7月17日（土）午前10時30分～ 第1部 セレモニー 第2部 内覧会 第3部 記念コンサート</p> <p>総資料点数 約390点 国外資料 約120点 国内資料 約270点</p> <p>紹介する12道県の恐竜化石 ・北海道・岩手県・福島県 ・群馬県・富山県・石川県 ・福井県・岐阜県・三重県 ・徳島県・福岡県・熊本県 （長野県、山口県は除く）</p>

・テバパ・トンガレワ国立博物館

大型哺乳類がない国であるニュージーランドでは、その影響を受けないキウイなどの多様な進化をした鳥類や、貝類、甲殻類、昆虫類について紹介します。併せて、マオリ族の装飾品を展示し豊かな自然に培われたマオリ文化を紹介します。

自然博物館の10年のあゆみと博物館長期計画

開館から10年の出来事を思い出の写真等で振り返るとともに、環太平洋博物館ネットワークのメンバーとして、国際化への対応を含めた今後10年の活動の基本となる「自然との共生を目指し、市民と協働する博物館」を目標とした長期計画(案)について紹介します。

(3) 記念イベント

開館10周年記念特別企画展の開催に伴って、以下の記念イベントを開催します。

ア	自然教室「キャンプディノ～恐竜展示室の一夜～」	8月28日(土)～29日(日)
イ	自然教室「恐竜の描き方講座」	9月12日(日)
ウ	自然講座「恐竜学者が答える恐竜Q&A」	9月19日(日)
エ	開館10周年記念恐竜シンポジウム「恐竜の足跡をたどって-中国そして日本-」	9月20日(月)
オ	自然観察会「ジュラ紀の化石をもとめて」	10月2日(土)～3日(日)
カ	自然講座「内蒙古の大草原と人々」	10月10日(日)

3 開館10周年記念式典の開催

11月を記念月間とし、11月13日(土)県民の日に海外姉妹館・友好館から来賓を迎えて記念式典を実施するとともに、期間内には、各種記念イベントを実施し、入館者の皆様とともに開館10周年を祝います。

4 環太平洋博物館国際シンポジウム

(1) 目的

人々のライフスタイルは様々に変化し、物の豊かさに加え、心の豊かさやゆとりと潤いのある生活も併せて求められてきています。教育の枠組みも、学校中心の教育から生涯にわたって多様で個性的な生涯学習へと移行しています。この生涯学習社会における教育システムでは、家庭教育、学校教育、社会教育が連携していくことが強く求められ、そのなかでも資料に基づく体験型の教育普及活動を行う博物館の役割は重要となってきています。自然博物館においては、人と自然との関係を考える役割が重要になってきています。

このような状況から、国内のみならず地球規模で人と自然との関係を考える機会として、「自然との共生、市民との協働」をキーワードに環太平洋の自然史系博物館長等が集う国際シンポジウムを開催し、新時代に対応できる博物館の姿を考えます。

ここで新たな博物館ネットワークを構築するとともに、次世代の博物館を担うジュニア層の育成を図る機会とします。

(2) テーマ 「自然とともに 市民とともに」

(3) 期 日 平成16年11月14日(日)

(4) 会 場 つくば国際会議場大ホール(つくば市竹園2-20-3)

(5) 日 程

開 会 午前10時

ジュニアフォーラム(活動発表, 討論) 午前10時15分～

・「博物館と私」をテーマに、博物館で活躍する日米のジュニア学芸員(中・高校生)が集い、活動の様子や自分の夢を語り合います。

・発表者(各館2名) ロサンゼルス郡立自然史博物館(アメリカ)、大阪市立自然史博物館、茨城県自然博物館

国際シンポジウム(各館からの提言, 討論) 午後1時30分～

・「自然との共生、市民との協働」について、各国博物館の取り組み状況と今後の活動の方向について語り合います。

・発表者

内蒙古自治区博物館長 邵 清隆(中国)

ロサンゼルス郡立自然史博物館長 ジェーン・G・ピサノ Jane G Pisano(アメリカ)

テバパ・トンガレワ国立博物館長 セドン・ベニンントン Seddon Bennington(ニュージーランド)

自然史博物館研究協会長 イ・ビョンフン Lee Byung-Hoon(韓国)

茨城県自然博物館長 中川 志郎

・いばらき宣言

閉 会 午後5時

(6) 参加募集人数 約450名

内蒙古自治区博物館(中国)

所在地 フフホト

開 館 1957年

特 色 古生物資料, 古代北方遊牧民族資料, 内蒙古革命闘争資料を展示

姉妹館 1997.8.21 締結

ロサンゼルス郡立自然史博物館(アメリカ)

所在地 ロサンゼルス郡

開 館 1913年

特 色 アメリカ屈指の鯨類新生代哺乳類化石を所蔵

姉妹館 1998.5.12 締結

テバパ・トンガレワ国立博物館(ニュージーランド)

所在地 ウェリントン

開 館 1998年

特 色 自然系資料とマオリ文化を中心とした歴史系資料を展示

テバパ・トンガレワの意味: 大切なものがあるところ